

経営に資する内部監査の仕組みづくり

～知っているよう出来ない経営に貢献するリスク・ベース監査

「内部監査実務マスター・コース」〔第1回開催分（全9会合）〕

- 日時● 2018年9月6日（木）14:00～17:00
- 会場● 東京・四ツ谷 『主婦会館プラザエフ』
- 講師● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

20年近く会計監査に従事した大手監査法人では監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動（国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他）にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査等に特化し、アンダーセン消滅後はPwC（中央青山監査法人）で活動した後、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人（E&Y）で内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS（不正対策・係争サポート）部長等を歴任し、2012年、シニアパートナーを早期退任して、ボルボ・グループで日本の内部監査統括および同グループ会社UDトラックス㈱の監査役に就任。現在も監査役業務の他に藤井範彰公認会計士事務所として監査や不正関連の講演や研修及び執筆活動を続けている。最近の著書「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」（同文館出版2016年）で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他にも著書「内部監査の課題解決法20」税務経理協会2012年、論文「内部監査のアシユアランスの本質論」日本内部監査協会月刊監査研究2018年7月号、「内部監査報告書の本質論と実務対応」同2017年5月号等多数。

●プログラム●

■講義／ 経営に資する内部監査の仕組みづくり <14:00-16:30>

経営志向が重視される中で、内部監査が進化していますが、それでリスク・ベースの監査になっていますか？リスク・ベースと口では言っても、その仕組みになっていない大企業はたくさんあります。経営目線でのリスク・ベースの本当の意味を監査人の責任解除およびアシユアランスというミッションとの関係を踏まえて解説します。その上で、日本企業の内部監査体制にありがちなガバナンス、人材およびインフラの問題とこれに対する体制づくりのポイントを検討します。最後に日本の内部監査に共通して見られる今日的課題についてお話しします。

1. 内部監査体制の構築とリスク・ベースの仕組みづくり
 - ・内部監査のパターンと監査体制をデザインする検討項目
 - ・リスク・ベース監査の意味と仕組み作り
2. 経営に資する内部監査の整備のため課題と対応
ーガバナンス・人材・インフラに見られる問題点
3. 日本企業の内部監査の今日的課題

■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント<16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	31,320円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

[本体価格 29,000円 本体価格 32,000円]

*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認ください。<http://www.bri.or.jp>

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社）企業研究会

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麴町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

180188	2018 9/6 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			
部課 役職	フリガナ	お名前	
e-mail			

★FAXでお申込の際、「0（ゼロ）発信のFAX機」をご使用の場合は、必ず「0」を押してから、番号入力をお願い致します。（別番号への誤送信にご注意ください。）

★本コースの全体プログラムは、弊会ホームページをご参照ください。

「企業研究会 内部監査実務マスター・コース」